



夢をかたちに  
MAKE DREAMS REAL

2008～2009年度国際ロータリーのテーマ

No.43,44

2009年6月24日 発行

# 高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



## 各委員会報告 (先週の続き)



唱歌委員会  
田水委員長



増強・職業分類委員会  
都倉委員長



クラブ会報委員会  
菊地委員長



プログラム委員会  
中右委員長



会員選考委員会  
小西委員長



雑誌・広報委員会  
岡本幹事



ロータリー情報委員会  
増田委員長



記録委員会  
中谷委員長



本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆さんで一緒にお読み下さい。



# 創立記念例会

6月18日(木) 於:大黒天





The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan







President

会長の時間 (6月10日分)

報道によりますと、足利事件で無期懲役が確定していた菅家利和さんは、再審請求中ではありますが、6月4日に服役先の千葉刑務所から釈放されたようでございます。再審開始前に受刑者を釈放するのは、極めて異例のようですが、再審開始により無罪が言い渡される公算が極めて大きいためと言われております。



事件が発生した1990年当時のDNA鑑定を根拠に無期懲役の判決を受け、精度が高くなった今日のDNA鑑定により無罪が証明されようとしています。

これまでに、裁判所自身が認めた冤罪事件として、次の4大冤罪事件が揚げられます。

- 1948年に起きた強盗殺人事件により、死刑判決を受けた免田事件。
- 1950年に起きた強盗殺人事件により、死刑判決を受けた財田川事件。
- 1954年に起きた少女誘拐殺人事件により、死刑判決を受けた島田事件。
- 1955年に起きた放火殺人事件により、死刑判決を受けた松山事件。

これら冤罪により、長期に渡って刑務所生活を余儀なくされた人達に対して、無罪が確定した後は、世間は暖かく受け入れているものと思っておりました。

ところが、冤罪被害者の生活の基盤は、完全に無くなっております。補償金の大半は、長期にわたる裁判費用等に消えてしまうようです。経済的な困窮も辛いようですが、それにも増して辛いのは「世間の目」であると聞きました。謂われの無い中傷や嫌がらせに悩まされることが多いようです。菅家さんにとっても、今後の試練が案じられます。

最近の報道から、感じたこととお話させて頂きました。

プログラム予定

6月24日(水)	7月1日(水)	7月8日(水)	7月15日(水)
会長・幹事 退任挨拶	会長・幹事 就任挨拶	定款・細則・決算・予算承認 雑誌・広報委員会担当 ホームページを閲覧する為 のパソコン操作法について	各委員会事業説明



Donation **ニコニコ報告**

(6月10日分)

**鹿間 行雄**

本日で、本年度事業報告が全て終わることとなります。各委員会のみなさん、ありがとうございました。

**竹原 俊三**

各委員長さん、本年度事業成果報告を宜しくお願いします。

**中谷 利幸**

先日、虫歯予防デーに播磨歯科医師会の8020運動で93才の母が最優秀賞を受賞致しました。会長の庄司会員から授与され喜んで帰って参りました。1本の虫歯も無く元気で長生き致しております。

**小西 文孝**

今日は雨の為、歩いて練習行けません。ボール代です。

**廣瀬 明正**

次週創立記念例会は県病にて診察と治療する日となっていますので欠席しますが、御祝金としてニコニコしておきます。

**志方 正昭・増田耕太郎・田中 浩行**

**田水 敬雄・嶋谷 拓雄・井野 隆弘**

花を飾りましょう。

**西田 光衛**

早退します。



Secretary **幹事報告**

(6月10日分)

第40回 通算1404回

1. 回覧その他

バーミンガム国際大会委員会より国際大会に潘基文国連事務総長が基調講演を行うことが決定したという連絡が届いております。

国際ロータリー第2680地区ガバナー事務所よりロータリーHPの会員アクセスページが改善された報告が届いております。

国際ロータリー第2680地区ガバナー及び社会奉仕委員長より発達障害講演会記録DVDの送付のご案内が届いております。

ザ・ロータリアン誌が届いております。



(6月18日分)

第41回 通算1405回

1. 回覧その他

兵庫県選挙管理委員会より7月5日県知事選啓発ポスターが届いております。

国連UNHCR協会よりニュースレターが届いております。



Neighbor-club information **近隣クラブINFORMATION**

クラブ名	変更内容	日時・場所
明石北ロータリークラブ	最終例会 移動例会	6/30(火) 6/25(木)
明石南ロータリークラブ	移動例会	6/26(金) 於:西明石キャッスルプラザホテル
加古川ロータリークラブ	最終例会 移動例会	6/30(火) 6/25(木)
加古川中央ロータリークラブ	最終例会 時間変更	6/25(木)
加古川平成ロータリークラブ	最終例会 親睦旅行	6/24(水) 6/27・28(土・日)
姫路ロータリークラブ	最終例会 時間変更	6/30(火)
姫路中央ロータリークラブ	最終例会 時間変更	6/25(木)
明石南ロータリークラブ	時間変更	6~8月は例会開始時間が18:00~です。

## 例会記録 2009. 6. 10 (水) 通算1482回

ソング	「奉仕の理想」
四つのテスト	新世代委員会 鹿間 虹美 委員長
来訪ロータリ アン報告	(6月18日分) 後藤 純次 様(高砂R.C.) 狩野 雄作 様(高砂R.C.) 新井 哲三 様(高砂R.C.) 脇谷 政孝 様(高砂R.C.) 室田 隆重 様(姫路中央R.C.) 長谷川 雄三 様(姫路R.C.)
出席報告	5月27日 会員数 52名 欠席者 8名 出席率 82.61% <修正による> (この内出席免除者10名) 6月10日 会員数 52名 欠席者 12名 出席率 72.09% (この内出席免除者10名)

### 播磨ゆかりの偉人伝 ③9

#### 和辻哲郎 (わつじ・てつろう) 和辻倫理学の確立者

「古寺巡礼」を刊行したのは、和辻30歳の、大正8(1919)年だった。友人と奈良の古寺を巡った印象をもとに「思潮」に連載したものをまとめたものだ。聖林寺十一面観音の描写はなんとも若々しく感受性にあふれている。

「肉づけは豊満でありながら肥満の感じを与えない。四肢のしなやかさは柔らかい衣の皺(ひだ)にも腕や手の円さにも十分現されているながら、しかしその底に強靱(きょうじん)な意志の閃(ひらめ)きを持っている」

この本は太平洋戦争に動員された学徒に飛ぶように売れたという。戦線からの生還は難しいので、一期の思い出に奈良を巡る手引書にするためだった。

明治22(1889)年、姫路市の医者の子として生まれた。姫路中学(現姫路西高)を経て一高から東大哲学科に入学。夏目漱石に傾倒し、在学中に谷崎潤一郎らと文学活動に入り、第2次「新思潮」を創刊した。

文学への志を断ったのは、高瀬照と結婚し、新婚旅行も済ませて大学を卒業したあと。代わって哲学の研究にスタンスを移した。大正3(1914)年、実存哲学紹介の「ニイチェ研究」は最初の著書である。

大正9年、東洋大学を振り出しに、法政大学、京都大学で教鞭をとり、道徳思想史研究のためドイツに留学。帰国後、母校の東京大学の教授となり、倫理学講座を担当した。「人間の学としての倫理学」と呼ぶ独自の倫理学を確立した。

哲学者、倫理学者、日本文化史家…。そのどれもに頂点を極めた。その著作は海外でも高い評価を得ている。

戦後も文筆活動を続けて日本学士院会員となり、昭和25(1950)年には日本倫理学会の初代会長になり、昭和30年には文化勲章にも輝いた。昭和35年、心筋梗塞のため東京都練馬区の自宅で71歳の生涯を閉じた。姫路では和辻哲郎文化賞が制定されている。

(主な参考文献=寺林峻・著「播磨百人伝」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間 行雄 幹事 岡本 崇司 クラブ会報委員長 菊地 敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)